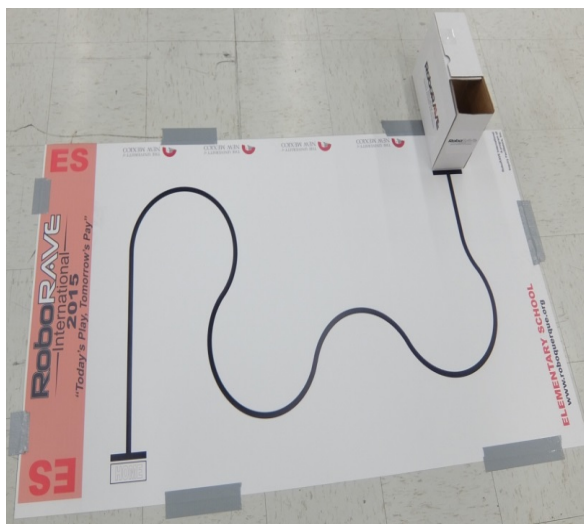
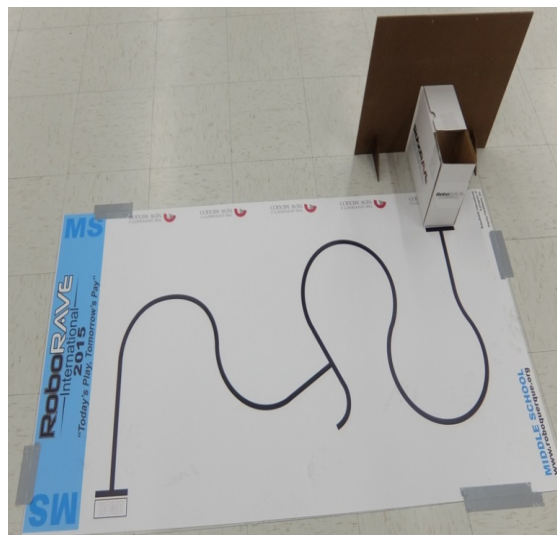


Line Following Challenge ルール



↑小学生トラック（前アメリカ大会）



↑中学生トラック（前アメリカ大会）

※画像の各コースは前アメリカ大会のものであり、
今回の加賀ロボレーブ国際大会で使用するものではありません。

●競技ルール

- ・ ロボットに複数のセンサーやプロセッサを使用してもかまいません。
- ・ 競技には3分間が与えられます。
- ・ プレイヤーのみがロボットを操作できます。
- ・ 塔（段ボール）に触れてはいけません。
- ・ 競技中にロボットに触れる場合は、ロボットをスタート地点まで戻してください。
- ・ 正式なスコアリングは10回のみ行うことができ、上から5つのスコアの合計で決勝進出者を決めます。
- ・ **1度のプレイでのスコアは、塔まで1往復（途中で最低1個のピンポン玉を塔に入れる）のポイントと、その後に塔に入れたピンポン玉（1個=1ポイント）の数の総計で決定する。**
なお、途中（1往復目）で入れたピンポン玉は、ボーナスとしてカウントされません。
- ・ 3分以内に1往復できなかった場合、途中の達成事項に応じてポイントを与えます。

●チェックイン

ロボットの大きさが**65,030cm³**を越えていないかどうか、競技に入る前に確認します。

（計測の方法は右のリンク先（動画）を参考にしてください。） [動画](#)

●部門別のトラックの詳細

- ・ 塔・・・小・中・高全ての部門で共通のもの。

高さ20.3cm、幅10.2cm、長さ35.6cmのもので、運ばれたボールを外に出すために後ろ側の面が空いている。

小学生の部・・・交差点なし。白色の背景に1.27cmの黒線が引かれているもの。

中学生の部・・・交差点が1つあり。白色の背景に1.27cmの黒線が引かれているもの。

高校生の部・・・交差点が2つあり。白色の背景に0.64cmの黒線が引かれているもの。

●スコア表

部門	Home を出発	1つ目の "T"を 曲がる	2つ目の "T"を 曲がる	Tower で止まる	ボールを 運ぶ	Homeへ 戻り 始める	1つ目の "T"を 曲がる	2つ目の "T"を 曲がる	Home に戻る	合計
小学生 の部	50	-	-	100	100	50	-	-	100	400
中学生 の部	25	25	-	100	100	25	25	-	100	400
高校生 の部	25	25	25	50	100	25	25	25	100	400

ボーナスボール：1往復した後に運んだボール1個毎に、1点ずつプラスする。

●決勝トーナメントについて

- ・各部門で上位8チームが決勝トーナメントに進出します。
- ・進出を決めた際のポイントに応じて、以下のトーナメント表の通りに対戦を進行します。

“RoboRAVE Kaga Japan 2017” 決勝トーナメント表

ラウンド1 ラウンド2 決勝ラウンド

トーナメント順位について

・ラウンド1で負けたチームは、決勝進出を決めた時点のスコアに応じて5～8位まで順位をつける。

・ラウンド2で負けたチームは、3位と4位を決めるためにラウンド3で対決する。

・ラウンド2で勝ったチームは決勝ラウンドで対決し、優勝と2位のチームを決める。ラウンド3と同時に行う)

